

新しい熊本博物館を見に行こう！



ここが変わった！ 1. 常設展示を一新！ 1階は熊本の歴史を、2階は熊本の自然を学べます

1階は「熊本の歴史と文化の由来を探る」と題し、旧石器時代から中世、そして現在の町の基礎が形成された近世を経て、近代の都市・軍都へと変貌する熊本の様子をさまざまな展示物を通じて伝えます。

2階は「熊本の自然にひそむ魅力と不思議に気づく」と題し、熊本の大地の生い立ちと身近な自然を中心とした展示構成で熊本の自然について理解を深め、楽しんでもらうための基礎知識を提供します。また、観覧後のフィールド観察や野外活動への参加も呼びかけています。



▲コウガソウ



▲熊本城鯀瓦

ここが変わった！ 2. 国指定重要文化財がお目見え

常設展示室の新たな目玉として、熊本城の小天守に展示されていた「細川家舟屋形(波奈之丸)」と「肥後国球磨郡免田才園古墳出土品」の国指定重要文化財がお目見え。細川家舟屋形を展示するケースの大きさは、日本一ともなわれています！



◀細川家舟屋形
(提供:株式会社 修復技術システム
(永青文庫所蔵 管理団体熊本市)



▶リョウキンジュウタイマウ
塗金獣帯鏡
(あさぎり町所蔵
管理団体熊本市)

ここが変わった！ 3. プラネタリウムに新番組が登場！

九州のプラネタリウムでは初放映となるプラネタリウム番組「火星～その先の宇宙 スペースエクスプロア」を放映します。スタッフによる「今日の熊本の星空解説」とあわせてお楽しみください。

リニューアルオープン記念展 記憶を未来につなぐ博物館



「記憶」「つなぐ」「未来」をキーワードとして時代を越えて受け継がれていく熊本博物館のあゆみと魅力を伝える展示会です。

期間 12月1日(土)～来年4月7日(日)



▲アレキサンドラトリバネアゲハ



▲清正知行宛行

【開館時間】 午前9時～午後5時(入場は午後4時半まで)
※12月1日(土)は午後8時まで開館!(最終入館は午後7時半まで)

【休館日】 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～翌年1月3日)、保守点検期間など

【料金】

入場料	個人	団体(30名以上)	年間入場券
一般	400円	320円	1,000円
大学生・高校生	300円	240円	750円
中学生以下	200円	160円	500円

※幼児、市内小中学生は無料(小中学生は名札か生徒手帳を提示してください)。
※障害者手帳または65歳以上の市民で証明書をお持ちの方の入場料は無料。

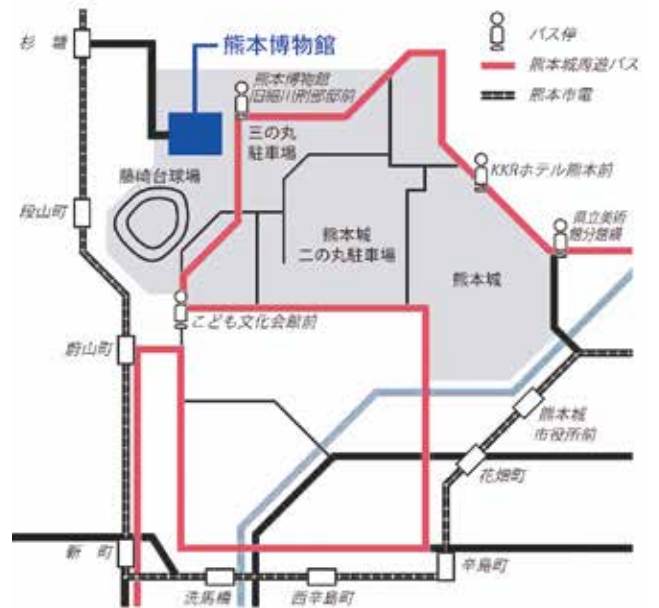
プラネタリウム	個人	団体(30名以上)
一般	200円	160円
大学生・高校生	150円	120円
中学生以下	100円	80円

※観覧には、上記入場料も必要です。

【交通アクセス】
・バス「交通センター」または「市役所前」下車、徒歩15分
熊本城周遊バス(しろめぐりん)で「博物館・旧細川刑部邸前」下車
・市電「杉塘」下車、徒歩5分

※専用駐車場はありません。近隣の三の丸駐車場(有料)などを利用ください。

【所在地】 中央区古京町3-2 ☎096-324-3500 ファクス096-351-4257



詳しくは、熊本博物館ホームページへ。

(熊本博物館 ☎096-324-3500)



世界のトップアスリートを見に行こう!



ドイツ競泳チーム熊本合宿開催

本市では、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴いドイツ競泳チームが熊本で合宿することが決定しており、今年も11月9日から開催される「FINAスイミングワールドカップ東京大会」の直前合宿として、ドイツ競泳チームが10年ぶりにやってきます。世界トップレベルの泳ぎを見学にお越しください。

見学者特典あり!

期間 10月30日(火)～11月8日(木)

場所 アクアドームくまもと(市総合屋内プール)

公開練習の日程は、市ホームページ(スポーツイベント)をご覧ください。⇒



- 見学者特典**
- ①2020東京五輪ピンバッジをプレゼント
 - ②11月3日(祝)、4日(日)にドイツフェス開催! ドイツグルメを両日先着100名にプレゼント



※写真はイメージです。

参加者 ドイツ競泳チーム(選手17名、スタッフ10名)

注目選手



マーコ・コツホ選手

- FINAワールドカップ東京出場種目 100m、200m平泳ぎ
- 主な実績 200m平泳ぎ1位('15世界選手権)

詳しくは、ドイツ競泳チーム熊本合宿実行委員会事務局(スポーツ振興課内)(☎096-328-2724)へ。